

平成29年度 防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表

- 評価基準
- A: 計画通り実施し、一定の成果があった。
 - B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 - C: 不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館			
H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年間図書購入目標冊数12,600冊(一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊) ・年間視聴覚資料購入目標点数115点(CD100点、DVD15点) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数13,511冊(一般10,118冊、児童3,260冊、郷土関係94冊、その他39冊) ・年間視聴覚資料購入点数158点(CD133点、DVD25点) 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の発行に関する的確・迅速な情報収集方策 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては概ね計画通りの適正な資料購入ができた。郷土関係資料の購入冊数は目標の冊数に若干達しなかったが、受贈図書でそれを補った。 	評価	B
(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館			
H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊) ・「図書館年報」(一般用・子ども用)平成28年度版の発行(5月31日) ・図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」に毎号定期的に記事を掲載 ・ホームページの整備、充実 ・テレビ・ラジオ等への出演による積極的な広報活動の展開 ・マナーアップキャンペーン(7月1日～8月31日)の実施 ・接遇、危機管理等に関する職員研修の実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度館外個人貸出者数151,568人、館外個人貸出冊数586,898冊 ・「ほうふ図書館だより」(A4版 4頁)「ほうふとしょかんこどもしんぶん」(A4版 2頁)「新刊紹介」(A4版 2頁)を毎月発行 ・「図書館年報」平成28年度版(A4版 32頁)・「数字で見る防府図書館」(A4版2頁)を5月31日に発行 ・図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」に定期的に記事を掲載 ・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」に定期的に図書館関係記事を掲載 ・ホームページの内容を随時更新 ・FMわっしょい「防府市からのお知らせ」に毎月第2・4木曜日出演、同局のビブリオバトル告知番組3回提供出演、山口ケーブルビジョン「まちかどNEWS」(5月15日)に出演 ・7月1日から8月31日までマナーアップキャンペーンを実施、併せて幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」を実施 ・接遇研修や普通救命講習を実施、年2回のルルサス防府消防避難訓練に参加 ・館内施設、設備等の安全点検を定期的に実施 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の内容のレベルアップ、広報活性化の方策 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り実施できた。 	評価	B

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
H29年度 事業計画	・移動図書館車「わっしょい文庫」の運行		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」を6コース36ステーションで運行 ・平成30年度に向けて、ステーション、コースを見直し、平成30年4月からのステーションを37か所に変更決定 ・「地域文庫」15か所、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」) 145団体を運営 		
課題等	・移動図書館ステーションの利用の拡大		
自己評価	・計画通り実施し、貸出者数が1,073人、貸出冊数が1,879冊、ともに増加した。	評価	A
(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス向上のための職員研修実施 ・レファレンス事例集の作成 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧及び複写業務開始 ・パスファインダー、テーマ別ブックリストの作成 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス向上のための職員研修に参加(年間7回) ・レファレンス事例記録を随時記入(レファレンス件数1,893件) ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧及び複写業務を7月5日から開始 ・新着図書案内やパスファインダー、ミニブックリスト、「行政関係図書紹介」を随時作成 		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上と、国立国会図書館他の図書館とのレファレンス協力体制の構築		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

図書購入冊数の目標を達成していることは評価できる。
貸出者数や貸出冊数が増加したことは、積極的な広報活動等の結果として評価できる。
図書館だよりは読者層を想定した発行が評価できる。市広報記事も今後の充実を望む。
移動図書館の小学校へのステーション設置は、利用者増加に成果を上げている。今後もステーションやコースの見直しに努めて欲しい。
図書館に出向けない人のために、地域文庫等の活性化を望む。
職員研修や、「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の開始、「行政関係図書紹介」の作成など、調査・研究に対応できる図書館としての努力が評価できる。
パスファインダーのホームページ掲載は、調査の効率を高めている。更にテーマを増やすことが必要である。
窓口の対応が良くなった。専門的な研修も併せて計画的な研修の継続を望む。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館			
H29年度事業計画	・「防府市子ども読書フェスティバル」(5月28日)、「防府図書館まつり」(10月14日)の開催 ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(12月頃)		
事業実施状況	・「第7回防府市子ども読書フェスティバル」を開催(5月28日)参加者数221人 ・「第27回防府図書館まつり」を開催(10月14日)参加者数3,500人 ・「防府図書館利用者懇談会」を開催(12月14日)参加者数13人		
課題等	・各行事の参加者数を増やしていくための方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B
(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館			
H29年度事業計画	・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月頃開催)		
事業実施状況	・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(1月25日)参加者数15人 ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月1日)参加者数23人、(2月8日)参加者数26人、(2月15日)参加者数22人、(2月22日)参加者数24人		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

「図書館まつり」は、市民へ定着し参加者が増加しているが、テーマの設定や催し物の工夫によるマンネリ脱却を望む。
 「子ども読書フェスティバル」は、前年度より参加者が減っている。参加を呼びかける方策が必要。
 「防府図書館利用者懇談会」、「防府図書館ボランティア連絡会議」は、参加者の増加に努め、参加者の意見を活かして欲しい。
 ボランティアの高齢化への対策が必要。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H29年度 事業計画	・毎月テーマを決めて行う館内3箇所以上での月例資料展示、ミニ資料展示の実施 ・ビブリオバトルの開催(5月・7月・12月の3回)と周知		
事業実施 状況	・毎回テーマを決めた、館内3箇所での月例資料展示を年間36回、ミニ資料展示を年間53回実施 ・「防府図書館ビブリオバトル」を年3回開催(5月28日)参加者数61人、(7月23日)参加者数14人、(11月13日)参加者数32人		
課題等	・資料の利用に結び付く展示内容の工夫と展示技術の向上		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	・個々の生涯学習グループの特徴的な活動のホームページ上での紹介		
事業実施 状況	・講演会他の公開イベントを開催する、ボランティア、学習サークル等の活動をホームページ上に随時掲載		
課題等	・閲覧者の強い関心を惹く掲載方法の工夫		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

資料展示は、意欲が感じられ良くなってきているが、詳細な説明と各コーナーの関連性で、より興味を引く展示を望む。

ビブリオバトルの開催は評価できる。中・高校生の参加を増やして欲しい。

多くの市民に事業を周知し、参加したくなる事業内容を考える必要がある。

ホームページでの生涯学習グループの活動紹介は効果的で評価できる。

夏休みなどに、専門知識を子ども達に向けて発信して欲しい。

館内展示やホームページに、文化振興財団のノウハウを活かした工夫を期待する。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H29年度 事業計画	・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施 状況	・平成29年度郷土資料収集冊数544冊、内購入冊数94冊、寄贈冊数450冊		
課題等	・郷土関係資料刊行についての的確、迅速な情報収集、調査研究、及び職員研修の実施		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、購入冊数が若干目標を下回った。まだ未収集の資料が少なからずあると思われるので、随時、情報収集に鋭意努める必要がある。	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	・防府史料第67集『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』(若月保治・著)の刊行・ホームページへの掲載(3月刊行予定) ・上山満之進関係常設展示の一部展示替え		
事業実施 状況	・防府史料第67集『若月保治著 近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』上巻を3月に刊行、ホームページにも掲載 ・上山満之進関係常設展示の一部を展示替え		
課題等	・郷土史・郷土文学等に造詣の深い職員を養成する研修の実施		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H29年度 事業計画	・春川市立図書館との資料交換事業(年1回、100冊程度交換) ・日本語・日本文化学習のための資料の収集・整理・保存・提供		
事業実施 状況	・春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録 ・春川市立図書館へ図書100冊を寄贈 ・春川市立図書館「おもちゃ・子ども図書館」開館に伴う記念式典及び視察研修に、職員2名が参加(9月8日～10日) ・日本語・日本文化学習のための資料を随時収集、提供		
課題等	・外国語・外国文化の基礎を理解するための職員研修の実施		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

郷土資料は、迅速に収集・整理し、分かりやすく提供して欲しい。
郷土資料は、寄贈を含めて目標冊数に達していれば評価できる。
ホームページ上にふるさと人物伝、防府史料等を掲載し、調べやすい工夫をしていることは評価できる。
防府史料の継続刊行は望ましい。
常設展示では、好評な展示について期間の延長や再展示の検討を望む。
郷土の歴史や文化について総合的な展示・紹介等に取り組むことが必要。専門職員の養成や文化財課との連携を望む。
オリンピックに向けてセルビア関係図書の充実を望む。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校への支援(学校支援図書利用カードの発行と利用促進) ・学校司書の研修機会や場の提供 ・「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の運営 ・公民館長会議での広報活動実施(毎月1回) ・学校図書館関係の研修、会議への参加 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数143件・貸出冊数1,598冊) ・学校司書研修の機会や場を随時提供 ・「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)を運営 ・公民館・出張所会議での定期的な広報活動(毎月1回) ・学校図書館関係の研修、会議に参加(年間6回) 		
課題等	・学校図書館とのネットワーク・システムの有効活用による学校支援図書貸出の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資料相互貸借、レファレンス協力等の積極的展開 ・県立図書館の講師派遣レファレンス研修他、他の図書館や防府市文化振興財団内の他機関と連携した職員研修の実施 ・防府市文化振興財団内連携部会会議の開催(毎月1回、連携事業について検討) ・資料展示やイベント等における防府市文化振興財団内のアスピラートやソラールとの連携(アスピラート「絵本作家 田頭よしたかのおもちゃばこ展」他) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の図書館と資料相互貸借(貸出989冊・借用733冊)、レファレンス協力等を実施 ・県立図書館の講師派遣レファレンス研修他、他の図書館や防府市文化振興財団内の他機関と連携した職員研修を実施(年間13回) ・防府市文化振興財団内連携部会会議を開催(毎月1回、連携事業について検討・協議) ・資料展示やイベント等で、防府市文化振興財団内のアスピラートやソラール、山頭火ふるさと館と連携企画を実施(年間10件) 		
課題等	・他の図書館等との情報交換による、サービス向上の情報収集		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

学校への人的・物的支援体制の確立が必要。
 オンライン・ネットワーク・システムは、活用した学校も多く、小・中学生が教育課程の中で図書に触れる機会が増えた。
 学校支援図書の継続的な充実を期待する。
 図書館と小・中教研との連携のもとに司書教諭の研修が計画的に実施されることを期待する。
 文化振興財団内の文化・科学事業との積極的な連携は評価できる。
 アスピラートやソラールのイベント参加者を図書館に導く方策を望む。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会の開催(「絵本『塩田の運動会』ができるまで」5月28日) ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施 ・「図書館員による調べる学習に役立つブックトーク」の開催(7月2日) ・児童サービス向上のための職員研修の実施 ・教育総務課と図書館の連絡調整会議を毎月1回定期開催 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会「絵本『塩田の運動会』ができるまで」とサイン会を開催(5月28日)参加者数130人 ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を実施(募集期間 8月2日～9月3日)・応募作品数(小学生45・中学生20) ・「図書館員による調べる学習に役立つブックトーク」を開催(7月2日)参加者数・親子10組 ・児童サービス向上のための職員研修を実施(年間13回) ・教育総務課と図書館の連絡調整会議を定期開催(毎月1回) 		
課題等	・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」における学校との連携		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア主催の子ども向けイベントにおける図書館職員のブックトーク実施(「おはなしでんしゃ」月2回他) ・「学校図書ボランティアネット・防府」研修会での図書館職員による新刊紹介ブックトーク実施(年3回) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしでんしゃ」のおはなし会で、図書館職員によるブックトークを実施(毎月2回) ・「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会で、図書館職員による新刊紹介ブックトークを実施(年3回) ・「防府図書館利用者・サークル連絡会」の講演会と研修会で、図書館職員によるブックトークを実施(年2回) 		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

調べる学習支援のためのブックトークは評価できる。テーマを決めるところからの支援も望む。事業対象が小・中学生に限定されているので、今後は高校生を巻き込んだ取組を期待する。子ども読書活動推進に係る諸事業への参加者の増加は、学校等との連携や職員研修などの成果であろう。

図書館職員によるブックトークは、好評である。子どもの読書習慣づけにも適しており、継続を望む。子どもの読書習慣が育つような事業の展開を期待する。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H29年度 事業計画	・点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本の整備とホームページ上での紹介 ・筆談によるサービスと広報活動による周知		
事業実施 状況	・点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本等の貸出サービスについて、ホームページ上で紹介 ・筆談によるサービスを実施 ・視覚障害者のための、音声を使った利用者開放インターネットサービスを11月から開始		
課題等	・障害者サービス周知のための広報活動		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、課題への早急な取組が必要	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	・ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作 ・障害者用郵送貸出サービスの推進と広報活動による周知		
事業実施 状況	・ボランティアと連携協力し、点訳資料、音訳資料、布絵本を製作 ・障害者用郵送貸出サービス周知のため、広報活動を実施		
課題等	・障害者サービスに係る職員研修の実施		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、課題への早急な取組が必要	評価	B

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	・図書館におけるボランティア活動実績のホームページ上での紹介		
事業実施 状況	・図書館における障害者のためのボランティア活動をホームページ上で紹介 ・障害者サービスの向上、ボランティアとの連携強化を図れるよう、障害や人権に関する職員研修を実施(年間3回)		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成と分かりやすいホームページ画面の作成		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、課題への早急な取組が必要	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

視覚障害者のための利用者開放インターネットサービスは評価できる。
インターネットによる図書検索でも大活字本などが紹介され、借りやすいシステムになっている。
障害者や高齢者に対して、図書館ができることをもっと広報し、周知すべき。
障害者や高齢者の利用状況の把握と必要とされるサービスの精査が必要。担当職員の配置を望む。
資料を探している利用者への積極的な声かけを望む。
アクティブシニア向けの取組も望む。

平成29年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<p>●安全点検については、日付を設定するなどといった具体的な記述が必要ではないか。</p> <p>●ホームページ上のパスファインダー掲載が図書検索の効率を高めており評価できるので、今後更にテーマを増やすことが必要。</p> <p>○年間図書購入冊数を達成できているのは評価できる。</p> <p>○本館も移動図書館も貸出者数や貸出冊数が増加したのは、積極的な広報活動等の取組の成果で評価でき、今後も期待する。</p> <p>○小学生の貸出登録者は増加傾向にあり、評価できる。</p> <p>○移動図書館の貸出者数増加は大変良い。今後もステーションやコースの見直しに努めて欲しい。</p> <p>○小学校への移動図書館ステーション設置は、周辺部の小中学生の読書活動推進に成果を上げている。確実に読者層を広げ、利用者増が期待できるので、小学校においてステーションの設置に前向きに取り組むと良いのではないか。</p> <p>○図書館窓口の対応が良くなった。</p> <p>○「行政関係図書紹介」の作成を評価したい。</p> <p>○図書館だよりについては、年齢など読者層を想定したものが発行されており評価できる。</p> <p>○職員の研修や「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の閲覧を開始するなどして、調査・研究に対応できる図書館としての努力が評価できる。</p> <p>◇市広報「ほうふ」の図書館関連記事は、市民にとって図書館の窓口であるため、今後も充実を望む。</p> <p>◇移動図書館は充実してきているが、図書館まで出向けない人のために、公民館の地域文庫等の活性化をして欲しい。</p> <p>◇図書館職員としての専門的な研修と人としての研修の両面から、意図的・計画的な研修を継続して欲しい。</p>	<p>●「図書館まつり」のメインテーマを設定したり、わっしょい広場で読書に関わる催し物の工夫をしたりしてマンネリ気味を脱却して欲しい。</p> <p>●「子ども読書フェスティバル」の参加者人数が前年度に比べ減っているため、いろいろな方策で呼びかけが必要ではないか。</p> <p>●参加ボランティアの高齢化が問題。何か対策が必要。</p> <p>●「防府図書館利用者懇談会」や「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催は評価するが、参加者が増加するよう努めてほしい。</p> <p>○「子ども読書フェスティバル」の座談会への参加者が多かったが、市民が集うことにより図書館の良さが認識されると思う。</p> <p>○「図書館まつり」の参加者の増加は、事務局の尽力により市民へ定着してきたからで、今後もその輪が広がることを期待する。</p> <p>○多彩な行事は、図書館への関心を高め、登録者やリピーターの増加につながっている。</p> <p>◇「防府図書館利用者懇談会」と「防府図書館ボランティア連絡会議」の参加者の意見と対応が示されると良い。</p>	<p>●ビブリオバトルの中・高校生参加について、図書委員等の協力なども得て増やして欲しい。</p> <p>●生涯学習の観点から、多くの市民に事業内容を周知して、参加したくなる内容の事業を考える必要がある。</p> <p>●展示のテーマに対する説明をもっと詳細にし、それぞれの展示コーナーに関連性があるとより興味を引くと思われる。</p> <p>○ビブリオバトルの開催や資料展示を工夫して、多くの市民が読書活動に参画したり、読書意欲を高めたりしていることは評価できる。</p> <p>○ホームページに生涯学習グループの活動を紹介したのは効果的で評価ができる。</p> <p>○月例展示やミニ資料展示とも多様なテーマで読書の楽しさや深さへ導く意欲が感じられて良くなってきている。利用者へもメッセージが届いていると思う。</p> <p>◇館内展示やホームページ掲載の工夫は、文化振興財団内でのノウハウを活かすことを期待する。</p> <p>◇図書館の専門知識を、夏休みなどの長期休みに子ども達に向け発信して欲しい。</p>

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館	7. 障害者や高齢者に優しい図書館
<ul style="list-style-type: none"> ●郷土（山口県や防府に関係するもの全般）について、積極的にいろいろな角度からの総合的な展示・紹介等に取り組むことが必要。 ●郷土資料については、迅速に収集・整理し、利用者への提供にあたっては、分かりやすくして欲しい。 ○郷土資料の購入冊数が目標を下回っていても、寄贈冊数を含めて目標冊数を満たしていれば評価できる。 ○ホームページ上に、防府史料やふるさと人物伝等のコーナーを設け、調べやすく工夫をしていて良い。資料が豊富で、地域の歴史を学ぶ上で役立つ。 ○防府史料の継続刊行は望ましい。 ◇常設展示の一部展示替えは大切だが、「目玉」展示については、期間を長くするとか、ある程度期間をおいて再展示するなど方法も検討して欲しい。 ◇オリンピックに向けて防府市がセルビアのホストタウンとして登録したのを機に、関係図書を更新・充実を図って欲しい。 ◇郷土史や郷土文学は専門性が高い分野なので、専門職員の養成や研修が望まれる。 ◇地域の歴史や文化などの担当課である文化財課との連携をとって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複雑多岐にわたり増加すると予想される学校への人的・物的支援体制の確立が必要。 ●アスピラートやソラルのイベント参加者を図書館に導く対策を図って欲しい。 ○オンライン・ネットワーク・システムの活用は初めての取り組みで画期的である。 ○オンライン・ネットワーク・システムの活用で、小・中学生にとって教育課程の中で図書に触れる機会が増えた。活用した学校も多く今後も更なる広がりを目指す。 ○文化振興財団内の文化、科学事業との連携が積極的になり良かった。ブックトークやギャラリートーク、おはなし会などを連携して開催し、知的理解と体験活動との協同を図っており評価できる。 ◇司書教諭の研修が、小・中教研と図書館の連携のもとで、計画的に実施されることを期待する。 ◇学校支援図書の貸出件数が増加するよう継続的資料充実を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業対象が小・中学生に限定されているようなので、今後は、高校生を巻き込んだ取組みを期待する。 ●高校生は自習のための利用が多く、幼児や小学生は親に連れられて来館しているようだ。その子ども達が大人になった時に図書館へ戻ってくるように、子どもの読書習慣が育つような事業の展開を望む。 ○子ども読書推進に係る講演会をはじめとする諸事業への参加者の増加は、学校等との連携はもとより、児童サービス向上に向けた職員研修などの努力の成果であろう。今後も取組の推進を期待する。 ○図書館職員によるブックトークは、絵本への興味を誘い、保護者にも好評である。子ども読書の習慣づけにも適しており、職員育成にも有効なので、継続を望む。 ○「調べる学習」の支援はとても良い。ブックトークだけでなく、テーマを決めるところからの支援を望む。参加定員の拡大を期待する。 ◇「子ども読書フェスティバル」は盛会だったが、幼児・児童の参加が増えるように努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者や高齢者に対して、図書館ができることをもっと広報し周知すべき。 ●障害者や高齢者の利用状況を把握し、必要とされるサービスの精査をすべき。 ●本を探している人に対して、図書館職員から積極的に声かけをして欲しい。 ○視覚障害者のための音声を使った利用者開放インターネットサービスは評価できる。 ○インターネットによる図書検索でも大活字本などが紹介されており、借りやすいシステムになっている。 ◇障害者や高齢者に優しい図書館をめざすことは重要で、職員研修やボランティアの育成・連携協力を努めているようだが、常勤の障害者担当職員の配置があればよいのではないか。 ◇高齢者対象サービスの一環としてボランティアなどの協力も得ながら、音読教室にチャレンジして欲しい。 ◇元気な高齢者、アクティブシニア向けの取組みも企画して欲しい。

防府市立防府図書館個人館外貸出状況

平成29年度年齢別利用者数

年齢	登録者数	貸出者数 (のべ人数)	貸出冊数
0-6	800	4,319	22,018
7-12	3,056	13,461	62,248
13-15	1,745	2,461	9,342
16-18	2,249	2,162	7,335
19-22	2,351	2,739	9,372
23-30	3,742	6,178	22,524
31-40	5,614	22,686	99,948
41-50	6,019	27,275	106,188
51-65	5,337	33,453	116,338
66-	5,654	36,834	131,585
合計	36,567	151,568	586,898

平成29年度分類別貸出冊数

	分類	冊数
一般書	0類 (総記)	4,846
	1類 (哲学)	16,223
	2類 (歴史)	21,452
	3類 (社会科学)	28,451
	4類 (自然科学)	21,864
	5類 (技術.工学)	51,010
	6類 (産業)	12,121
	7類 (芸術.美術)	24,219
	8類 (言語)	5,217
	9類 (文学)	144,909
		計
児童書	0-8類	48,999
	9類	43,110
	E (絵本)	95,192
	紙芝居	3,176
		計
	雑誌	41,742
	郷土資料	5,680
	外国語の図書ほか	372
	視聴覚資料	18,315
合計		586,898